

今年の登熟は、高温条件下で進んでおり、成熟期は9月上旬と予想されます。

ほ場ごとに籾の黄化状況を確認し、籾黄化率80%から刈取りを開始し、立毛胴割れを防ぎましょう。また、適切な乾燥・調製により、胴割米等による品質低下を防ぎましょう。

1 刈取りまでの管理

(1) 刈取りの5～7日前までは、「間断かん水」を行い、胴割米の発生を防止しましょう。

※フェーン等の高温乾燥が予想される時は、事前に入水し、稲体の活力を維持しましょう。

(2) 収穫前にはほ場を巡回し、クサネムや水稻の異茎株を確実に抜き取りましょう。



2 適期刈取の励行

表1 出穂期からみた刈取適期の目安

出穂期	刈取始め(籾黄化率80%)
7月30日	9月4日頃～
8月1日	9月7日頃～



● 籾黄化率80%からの刈取り

(1) コシヒカリより籾の黄化がやや遅くなる傾向があります。胴割米の発生を防止するため、刈り遅れに注意しましょう。

(2) コシヒカリと同程度の黄化であれば「富富富」を優先に刈取りを行いましょう。



(籾黄化率80%程度の籾)

3 適切な乾燥調製

(1) 玄米水分14.5～15.0%に仕上げましょう。

(毎時乾減率0.8%以下での乾燥とし、手動水分計でこまめに測定して仕上げましょう。)

(2) 1.9mmのふるい目による選別を徹底し、状況に応じて色彩選別機を活用しましょう。

～秋の農作業安全運動実施中～ コンバインによる重大事故防止のための5つのポイント

- (1) 機械の点検整備 (2) 焦り防止 (3) 周囲確認 (4) 正しい服装 (5) 適度な休憩